

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響は収まりつつあるが、令和4年度においては、これまでと同様に、度々訪れる感染の波の影響で、イベントや交流事業など十分な活動は出来なかった。

(1) 公益目的事業の実施

法人会活動の原点である「税知識の普及及び税に関する啓発活動」は、次代を担う若者を対象に、以下の通り開催いたしました。女性部会が行う知覧税務署管内全ての小学校5～6年生を対象に「税の絵はがきコンクール」等の活動、青年部会が行う加世田小学校6年生・知覧小学校6年生・桜山小学校6年生への「租税教室」活動、税を考える週間に「税に関する作品等の展示」等を開催いたしました。

また、地域の活性化を目的に社会貢献活動を管内全域において地域の要請に応じた各種活動を実施しました。

(2) 地域企業の支援を目的とした活動

企業経営の健全化並びにその発展向上に資することを目的に、税務・経営等に関する様々な研修会を開催しました。知覧税務署による「税務研修会」等を開催いたしました。

また、広報誌「Hojin」を発行し活動内容の周知と各種情報の提供も行いました。

(3) 公益法人制度が求める法人会運営・管理の強化

公益法人制度が求める定款や各種規程・規則の整備を行いました。また、会計基準や助成金制度の変更に対応するため、新しい事務の構築に務めました。今後は、理事会や委員会機能の更なる充実を図り、ガバナンスの確保に努めることといたします。

(4) 組織運営と財政基盤の強化

会員増強への取り組みは、役員や保険会社による積極的な加入勧奨の効果もあり、会は若干の減少で、このことは、令和6年度に鹿児島で開催される全国大会に向けた機運が高まったものと思われる。

一方、コロナ禍により、各支部・地区ごとの交流会など開催出来ず、法人会のメリットである会員同士の情報交換の機会が減ることとなりました。

以上のことから、令和4年度は、会全体として組織の強化と財政基盤の強化を図ることが難しい年でした。しかしながら令和5年度に向けては、支部活動が徐々に再開しており、法人会のメリットである会員同士の情報交換の機会が得られやすい環境になりつつある。